



〒639-1037 奈良県大和郡山市額田部北町 1261-5
TEL 0743-56-8611 E.mail : vza02034@nifty.ne.jp
FAX 0743-56-8621 URL:<http://www1.kcn.ne.jp/~kikyuu/>
九州出張所 : 佐賀県三養基郡北茂安町西大島 1953

- 1) 耐摩耗性に優れている。
湿気硬化型ウレタンは、他のどの様な塗料よりも耐摩耗性が優れています。
- 2) 耐水性、耐薬品性に優れている。
従って、床材を汚すことなく、掃除するだけでいつまでも美しい床が保てます。
コンクリートから出るアルカリ性にも強く、コンクリート床のシーラーとしても最適です。
- 3) 床材の美観、保護に優れている。
木目、木の色等床材本来の美しさを保持し、深みのある落ち着いた艶が出ます。
- 4) 柔軟な塗膜である。
塗膜は非常に強靱で、且つ柔軟性をもっています。
- 5) ノンスリップである。
床塗装ではすべらないことが必須条件ですが、この塗料は滑らないようになっています。
- 6) 速乾性である。
速乾性のため、作業工程の短縮になります。
- 7) 維持費が節減できる。
手入れが簡単な上、長持ちするので、維持費が少なくてすみます。
- 8) 一液性で作業が簡単です。

． 塗 坪

	4 L	1 6 k g
2 回 塗	1 6 m ² （ 約 5 坪 ）	6 5 m ² （ 2 0 坪 ）
3 回 塗	1 1 m ² （ 約 3 坪 ）	4 6 m ² （ 1 4 坪 ）

． 塗 装 方 法

- 1) 刷毛塗りの場合 刷毛に塗料をたっぷり含ませてお塗り下さい。
（ローラー、 希釈は殆ど不要です。
モップも同様） 必要な場合には必ず専用シンナーでうすめて下さい。
他のシンナーの場合、硬化しなかったり、不溶化したりする
場合があります。
- 2) 吹付け塗装の場合 ポリプラスシンナーで 2 0 % 程度うすめて下さい。
- 3) 塗装間隔 指で触ってベタツキが無くなった時点で塗り重ね可能です。
 常温（ 2 0 ）：約 3 時間
 1 0 ：約 4 時間、 3 0 ：約 2 . 5 時間

1 日以上間隔があく場合には、塗装表面をペーパーで研磨し
てから塗り重ねして下さい。
（密着が悪くなり、剥離の原因となります。）

． 塗 装 工 程

工 程	
1)素地調整	# 1 2 0 サンドペーパー
2)第 1 回目塗装	乾燥： 3 時間 （ 2 0 ）
3)研磨（毛羽取り）	# 2 4 0 サンドペーパー
4)第 2 回目塗装	乾燥： 3 時間 （ 2 0 ）
5)研磨	# 3 2 0 サンドペーパー
6)第 3 回目塗装	乾燥： 6 時間以上

工程 3) 及び 5)は省略可

性能

1) 塗装条件

試験板：研磨鋼板

膜厚：30～35 μ

乾燥条件：常温（20）×7日

2) 塗膜性能

鉛筆硬度：HB～H

エリクセン：

耐屈曲性：マンドレル

耐衝撃性：デュポン式 500g×50cm

耐薬品性（20 × 24 hr）

耐アルカリ性：5% NaOH

耐酸性：5% H₂SO₄

耐塩水：5% NaCl

耐汚染性

口紅：

マジック：

ボールペン：

インク：

耐摩耗性：15～20mg CS-10 1kg×1000回

耐黄变性（水銀灯 400W×30cmでのb値）

初期	24hr	168hr
+1.7	+17.1	+22.5

乾燥性（20 75%RH 30～35 μ）

指触乾燥：30～40分

サボン 500g：180～200分

塗装上の注意

1) 素地の汚れ、シミ、油分はきれいに除去して下さい。

2) 密着不良の原因は、

既に塗料、ワックス等が塗ってある場合、そのまま塗りますと、塗膜のはじきや塗膜剥離の原因になりますので、必ず事前にペーパーで除去して下さい。

水分（湿気）を多く含んでいる場合も、密着不良の原因になりますので、乾燥の程度を十分に確かめてから塗装して下さい。

下地処理として、薬品処理された場合には薬剤を完全に中和するか除去して下さい。

3) 塗り重ね間隔は長すぎると密着不良の原因となります。

1日以上間隔があく場合には、ペーパーで研磨して、塗膜表面を粗してから塗り重ねして下さい。

（補修の場合も同様で、ペーパーで古い塗膜を除去してから再塗装して下さい）

．取扱上の注意

この塗料は、イソシアネート基が空気中の水分と反応して硬化するものであるため、ある程度の湿気が必要です。

又、1回にあまり厚塗りをしたり、あるいはあまり急速に乾燥させると表面が硬化し、必要な水分の侵入と炭酸ガスの拡散がスムーズにいかず、気泡が発生する原因となります。

製品は窒素シールをしていますが、一度開封したものは空気中の湿気によりゲル化しますので一度で使いきってしまうことが望ましいです。

使用後は、密栓して、なるべく早い内に使いきって下さい。

塗装後、塗装器具（刷毛、ローラー、モップ、スプレー等）はウレタンシンナーや洗浄用シンナーですぐに洗浄して下さい。

固化するとシンナーには溶けなくなります。

．荷姿

1 6 k g 4 L × 4 / ケース

工 程 表

(塗り替えの場合 1 : 旧塗膜があり、かつ、ワックス処理してある場合)

No.	工 程	材 料	処 理	乾 燥 時 間
1	ワックス除去 1	シリコンオフ	シリコンオフにてワックス分を拭き取る	
2	素地調整	# 1 8 0 ~ 2 4 0	旧塗膜とワックス分を出来るだけ削り落とす 研磨粉を除去する	
3	ワックス除去 2	シリコンオフ	シリコンオフにてワックス分を拭き取る	
4	塗装 - 1	ポリプラス フロアーコート	モップ刷毛塗り 70 ~ 100g / m ²	3 時間
5	研 磨	サンドペーパー # 2 4 0	ケバ落とし 研磨粉を除去する	
4	塗装 - 2	ポリプラス フロアーコート	モップ刷毛塗り 70 ~ 100g / m ²	3 時間
5	研 磨	サンドペーパー # 3 2 0		
6	塗装 - 3	ポリプラス フロアーコート	モップ刷毛塗り 70 ~ 100g / m ²	一晩

(注)

- 1) 旧塗膜がある場合は、出来れば、研磨により除去することが望ましい。
- 2) 除去できない場合は、下の塗膜の種類を確認し、同系統の塗料を塗装すること。
下地が油変性ウレタン (塗料シンナー系) の場合、塗り替えにウレタンシンナー系の塗料を塗布すると、リフティングする場合があります。
- 3) 旧塗膜の上にワックス処理してある場合には、ワックス分を十分に除去しておかないと、密着不良が起こりますので、シリコンオフ等のシンナーで良く拭き取った上、研磨して、ワックス分を十分に除去して下さい。
方法としては、塗膜表面のワックスを工程 1 で出来るだけ除去し、その後に研磨して旧塗膜と共に残っているワックス分を除去します。この削り粉は十分に除去して下さい。さもないと、せっかく削り落としたワックス分が再度、床に付着します野で、研磨した効果が半減してしまいますのでご注意下さい。
次いで、再度シリコンオフ等のシンナーによりワックス分を除去します。
その後、念のため、部分的にフロアーコートを塗布して、密着性を確認して下さい。
- 4) 表面塗膜の疲弊が激しく、下地の木にワックス分が染み込んでしまっている場合には、削り落とすなりして、出来るだけワックス分を除去して下さい。
- 5) 塗装回数は、一般的には 3 回塗りですが、下の塗膜により、吸い込みがない場合には、2 回塗りでも可です。 塗膜状態により、塗重ね回数を決定して下さい。
- 6) 工程 5 の研磨は、塗膜状態 (ケバがあるか否か) により省略出来ます。

フローコート 性能表

	性 能	備 考
塗膜状態	優	目視
鉛筆硬度	H ~ H B	三菱ユニ
耐衝撃性	合 格	デュポン式 500g × 50cm
密着性	100 / 100	1mm方眼 碁盤目 テープ剥離
耐屈曲性	合 格	3mmφ丸棒
耐摩耗性	15 ~ 20mg	CS-10 1kg × 1000回
エリクセン	合 格	10mm
耐薬品性 耐アルカリ性 耐酸性 耐水性 耐沸騰水性 耐塩水性 耐テレピン油性	合 格 合 格 合 格 合 格 合 格 合 格	5% NaOH 20 × 48時間 5% H ₂ SO ₄ 20 × 48時間 水道水 20 × 48時間 沸騰水 100 × 15分 5% NaCl 20 × 48時間 テレピン油 20 × 48時間
耐汚染性 口紅 マジック インク ボールペン		汚染後1時間後にラビング
耐黄変性 初 期 24時間 168時間	+ 1 . 7 + 17 . 1 + 22 . 5	高圧水銀灯 400W × 30cmでの b 値
乾燥性 指触乾燥 ザボン 硬化乾燥	30 ~ 40分 180 ~ 200分 3時間	ザボン 500g

御中

成分表

品名：フロアーコート

分類頁： 1 液 湿乾型 ウレタン樹脂系塗料

成分

ポリイソシアネート樹脂	4 3
芳香族炭化水素系溶剤	4 7
グリコールアセテート系溶剤	9
添加剤	1
	1 0 0 %

消防法による分類	危険物 第 4 類 第 2 石油類 危険等級：
労働安全衛生法による分類	第 2 種有機溶剤含有 含有率：40-50 %

平成 年 月 日

御中

鉛含有量について Certificated of Lead Content

下記の商品の塗料には、鉛及び鉛化合物は含まれておりません。
It is certificated that the paint film of below listed does not contain lead nor lead compounds.

記

< 商品名 > Brand Name

フローコート
Floor-Coat

湿気硬化型 ウレタン樹脂塗料
Moisture curing Type
Polyurethane Finish Coat